TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音　霊によって祈る
エフェソの信徒への手紙 6:21-24

2024 年 4 月 13 日 & 14 日
余沢 武　牧師

I.はじめに

こんにちは。今日でエフェソの信徒への手紙のシリーズは終わりです。来週はジェシー牧師が説教します。その次の週からは、マタイ 26 章-28 章から、”The King Enthronated”（王が王位についた（日本語仮訳）という新しいシリーズを始めます。

エフェソではクリスチャンとして、私達は神の似姿を表すよう創造されたことを学んできました。
しかし、私達は怒りと不品行を捨て去り、謙遜、柔和さと従順さを身につける必要があります。
それは悪魔が私達を互いに争わせ、邪魔をしようとするからです。
私たちは「神の完全な武具を身につけ」、「神の似姿を表す用意をし」そして「いつも祈る」ことによって、悪魔に対抗するのです。

今日はパウロが祈りと共にこの手紙をどのように締めくくるのかを見てみましょう。まず祈りましょう。

II.平和、愛、恵み

(1)ティキコ

エフェソの信徒への手紙 6:21-22 をみてみましょう。
「私がどのような様子か、何をしているか、あなたがたにも知ってもらうために、ティキコがすべて報告するでしょう。彼は、主にあって愛する兄弟であり、忠実に仕える者です。彼をあなたがたのもとに送るのは、あなたがたが私達の様子を知り、彼によって心に励ましを受けるためです。」

ここにある通り、この手紙はクリスチャンの兄弟である「ティキコ」が届けました。

パウロは彼のことをコロサイ 4:7-9 にも書いています。
「私の様子については、ティキコがすべてあなたがたに知らせるでしょう。彼は主にあって愛する兄弟、忠実に仕える者、私と同じ僕です。彼をそちらに送るのは、あなたがたが私たちの様子を知り、彼によって心に励ましを受けるためです。あなたがたの一人、忠実な愛する兄弟オネシモも一緒に行かせます。こちらの事情はすべて、彼らが知らせてくれるでしょう。」

そして興味深いことに別の手紙、フィレモン 10、12 節でパウロはこう言っています。
「獄中で生んだ私の子オネシモのことで、あなたに頼みがあるのです。...そのオネシモをあなたのもとに送り返します。彼は私の心そのものです。」

つまり、ティキコはオネシモと一緒でした。そして彼らは共にエフェソの信徒への手紙、コロサイの信徒への手紙、そしてフィレモンへの手紙を届けました。そのため、エフェソの信徒への手紙とコロサイの信徒への手紙には多くの類似点が読み取れるのです。

今読んだエフェソ 6:21-22 の「最後の挨拶」は、まるでコロサイの「最後の挨拶」のコピーのようです。エフェソで使われた 40 語の内、32 語はコロサイで繰り返されています。パウロが「最後の挨拶」を 1 つの手紙から他の手紙に書き写す様子が目に浮かぶようです。

(2)平和、愛、恵み

「最後の挨拶」を書いた後、パウロはこの手紙を祈りで結んでいます。23-24 節にはこうあります。
「父なる神と主イエス・キリストから、平和と、信仰を伴う愛とが、きょうだいたちにありますように。恵みが、私たちの主イエス・キリストを変わることなく愛する、すべての人と共にありますように。」

パウロは 3 つのことを祈りました。「平和」「愛」「恵み」です。
この 3 つの言葉で、パウロは「この手紙」また「クリスチャン生活」とは何かを要約しました。

第 1 に「平和」と共に始まります。エフェソでは、私達が皆罪を犯したこと---私達は罪深い欲望、罪深いやり方、罪深い野心に従って生きてきたことを学びました。しかし、イエスが来られ、私達の罪の罰を受け、よみがえり、天の父と共に統治するために天に上げられました。

私達がイエスと、私達自身を同一視するとき、十字架上で罰せられたのが自分の罪だと受け入れ、自分の罪、欲望、やり方、野心を明け渡し、そしてイエスを信頼し従うと決心する時...私達はイエスと共に死に、イエスによって赦され、イエスと共によみがえります。そしてイエスと共に治めるのです。
私達は神との平和と、ユダヤ人や異邦人という区別なく…他の人達との平和を持つようになります。私達すべては、イエスにあってひとつなのです。これが私達の「新しいアイデンティティ」であり、このように私達の新しい人生は始まるのです。

第 2 に、今私達の人生は「愛」が目的となるでしょう…私達の神への信仰と共に、神を愛し、他の人を愛するということです。

イエスは、もし私達が「まず神の国と神の義とを求め」るなら、これは「神を愛し、人を愛する」ということで、神は私達の必要を満たしてくださると言います。だから今、私達は神への信仰と共に、自由に神を愛し、自由に人を愛することが出来るのです。

第 3 に、私達には神の「恵み」が必要です。愛そうとする時、私達は自分の罪…欲望、やり方、野心などのために、いまだに苦労し失敗するでしょう。しかし神をほめたたえ、神に赦しを求めるとき、神の恵みによって、私達は赦されます。そして私達が神に助けを求める時、神の恵みによって、神は私達が変わるのを助けてくださいます。

私達には「平和」「愛」「恵み」が必要なのです。

クリスチャンの人生はまるで木を植えるようなものです。
「平和」は私達に新しい命を与えてくれる「種」です。
「愛」は私達が実らせたい「実」で、それは「神のご性質」の象徴です。
「恵み」は日光、水、栄養分で、私達が「成長し、変化する」ことを助けます。

(3)平和、愛、恵みはどう働くのか
私にはこのような友人達がいます。
彼らはクリスチャンたちで、自分の欲望、やり方、野心を神に手放し、神を信頼し従うことを決意した人達。その人達は神との間に「平和」を持っています。妻、夫、子供、両親など誰かを「愛そう」としています。しかしどういうわけかその人達は愛そうとしている人達から嫌われています。自分の感情や考え、尊厳さえも否定します。彼らは愛し続けることを不可能だと感じ、怒りを心に抱えるようになります。彼らの持てる怒りが赦されるため、また「愛の中で成長し変化」し続けるための力を得るために、彼らには神の「恵み」が必要です。

パウロはこのような人達のために祈っています。そうすることで、彼らにある「平和」が増して…自分の感情、考え、尊厳を、神に明け渡し、そして「神との平和」と「他の人との平和」を守るためにより強い願望を持ちます。
彼らの「愛」はもっと増します。彼らは妻、夫、子供、両親、またそれが誰であろうと無私無欲で愛し続けます…いつか神が最良の結果をもたらしてくれると信じているからです。
彼らにはより多くの「恵み」が溢れます。神の「恵み」を絶えず受け続け、怒りに支配されても赦され、そして愛の中で成長し、変化します。

パウロが祈ったように、もし、その人が平和と愛と恵を受け続けたらどうなるでしょうか。妻、夫、子供、両親、それが誰であれその人達は変わると思いますか？そうかもしれません、神は忠実なお方です。そしてその人達は「イエスの愛」をもっとたくさん経験していくでしょう。

しかし、一つ確実なことがあります。これらのクリスチャンは変わっていくということです。彼らの中に神との類似点は増えていきます。その人は全く違う性質の、全く違う人になるでしょう。

しかし私は、家庭だけではなく、職場や教会でも同様に苦労している人達を見てきました。
繰り返しになりますが、その人達はクリスチャンです。その人達は自分の欲望、やり方、野心を手放し、神に信頼し従うことを決意しました。彼らは神との間に「平和」を持っています。

職場やミニストリーで他の人を「愛そう」とします。しかしどういうわけか期待したように接してもらえなかったり、思うように協力してもらえなかったり、思い描いたような結果が得られないのです。彼らはその人たちを愛し続けることを不可能だと感じ、怒りを心に抱えるようになります。
繰り返しになりますが、彼らの持てる怒りが赦されるため、また「愛の中で成長し変化」し続けるための力を得るために、彼らには神の「恵み」が必要です。

パウロはまたそのような人々のためにも祈っています。そうすることで、その人達にある「平和」が増します。自分の期待、必要、目標を神に委ねるより強い気持ちを持ち、「神との平和」と「他の人との平和」を守ります。
彼らの「愛」はもっと増します。そして、たとえ自分が欲しいものが得られなくても「職場や教会」で他の人を無私無欲で愛し続けます。しかし信仰により、神が神の御心に沿った最良の結果をもたらしてくれると信じています。
彼らにはより多くの「恵み」が溢れます。神の「恵み」を絶えず受け続け、怒りに支配されても赦され、そして愛の中で成長し、変化します。

パウロが祈ったように、もしその人達が絶えず「平和と愛と恵み」を受け続けたら？　彼らの期待や、必要、望みは満たされると思いますか？　そうです、もしそれが神の御心ならば。

しかし、ひとつ確かなことは、彼らは変わるということです。その人達はさらに神の似姿に変えられていきます。彼らは全く違う性質の、全く違う人達になるでしょう。

(4)結論
そうなった時に、その人は自慢して言わないでしょう…もし私達に起こったとしても、私達も言わないでしょう。
私が変わることが出来たのは、私が努力したからです。それが要因かもしれない。
私が変わることが出来たのは、この本やあのクラス、またはあのセミナーで学んだからです。それらが要因かもしれない。
私が変わることが出来たのは、職場や教会でのあれこれが助けになったおかげです。それらが要因かもしれない。

しかし、私達はこう言うでしょう。
私は愛することも、これをすることも、あれをすることも、それをすることも、あのことも失敗してきました。
私は何度も、何度も、何度も、何度も十字架に立ち返り続けました。
私は何度も、何度も、何度も、何度も赦されました。
私は何度も、何度も、何度も、何度も主の恵みを求めました。
そして主の恵みによって、私は今、少し、ほんの少し変わったと思えます。まだまだ道のりは長いことは知っているけれど、でも自分でも以前と同じ人間ではないことがわかります。私達はこう言います。「ハレルヤ！　神を褒め称えます！」「イエスは素晴らしい!」そのように私達は誇るのです。

それは全てイエスにあって私たちが受け取った「平和」「愛」「恵み」のおかげです。だからパウロはこう祈ったのです。「平和」、「愛」、「恵み」が私達に増しますように。
これは私が自分自身のために祈らなければならない祈りです。
これは牧師全員、教会スタッフ全員、自分の SG メンバー全員、TBC のメンバー全員、そして家族全員のために私が祈らなければならない祈りです。

「平和」と「愛」と「恵み」が彼らに増し加わりますように。その結果として一人一人が神の似姿にますますなっていきますように。

もしこれが、私達の配偶者、子供達、両親、友人、同僚などのために私達が祈っていることではないとしたら、それは問題です。私たちは「救い」を見失っていることになります。これこそが「救い」であり、「クリスチャン生活」であり、そして私達の「霊的戦い」なのです。

私達が知っている全ての人がそのようになることを願い、祈りましょう。誰もがこの最も壮大で最も早急な祈りを必要としています。「平和」「愛」「恵み」が皆さん全ての内で増しますように。

もしあなたがクリスチャンでないなら、自分の欲望、やり方、野心を主に委ね、主を信頼し、従うことを決意してください。そうすればあなたも主から「平安」「愛」「恵み」を受け取り、そして「愛の実」が実る…全く違う人生を送ることが出来ます。 今日、そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg1624jp

★クラス 201
スモールグループについて
4 月 14 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

★クラス 301
自分の賜物発見クラス
4 月 27 日（土）1:30pm - 5:30pm
参加条件: クラス 101&201 を修了した方

★クラス 401
人生の使命を発見する
5 月 11 日（土）1:30pm - 5:30pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu